

音月

ONMYAKU VOL.69

東京文化会館 公演情報

1-3 | 2018
WINTER

interview & essay

- 藤岡幸夫 2
- 神尾真由子 3
- ノ・ヒソン / 荒井里桜 /
ヘルパシオ・タラゴナ・ヴァリ /
アレックスサンドロ・ベヴェラリ .. 4-7
- 藤木大地 8

東京文化会館主催公演 ... 9-12

column

- プロセニアムのスター達 ... 13
- 公演情報 1月~3月 .. 14-19
- 音楽資料室より 20
- 都響ニュース vol.46 .. 21
- 会館からのお知らせ .. 22



東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



©Shin Yamagishi

INTERVIEW 01

《響の森》vol.41
「ニューイヤーコンサート2018」

藤岡幸夫 (指揮)

国内外のオーケストラを幅広く振り、とりわけ英国での活躍が目立つ藤岡幸夫。他の「ニューイヤーコンサート」とは一線を画した企画として知られる《響の森》に初出演する。

取材・文／伊熊よし子(音楽評論家)

藤岡幸夫は国内外のオーケストラを幅広く振り、とりわけ英国での活躍が目立つ。現在は関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者を務めるが、毎年40公演以上を指揮し2018年で19年目のシーズンを迎える同オーケストラとの絆の深さを示す一体感あふれる演奏は、常に高い評価を得ている。

東京都交響楽団とも共演を重ね、来春の「ニューイヤーコンサート」では耳なじみのある名曲で息の合った演奏を披露する。

「東京都交響楽団は、ゴージャスな響きを備えたオーケストラ。いまからリハーサルがとても楽しみです。今回のプログラムは、まずJ. シュトラウス二世のワルツ《南国のバラ》で幕開けします。シュトラウス二世はいわゆるプレイボーイで、何度か結婚し、たくさんの女性とのかかわりがあった人。このワルツを作曲したころ前の奥さんを亡くし、すぐに若い奥さんと結婚したのですが、この人が悪妻でね。彼は前の奥さんが忘れられず、ああ、彼女がよかったなあ、でも、もういない。そんななかでも、私は頑張っただけで進まなくてはならない、というような気分になっているわけ。その複雑な感情が作品に託され、ただ明るく楽しいワルツではなく、哀愁の表情が見え隠れしている、そんなところを聴き取ってほしいんです」

藤岡幸夫はひとつの作品と対峙するとき、その作曲家が作品を書いていた時期にどのような状況にあったか、いかなる心情を抱いていたかなどを彫り下げ、楽譜の奥を読み込んでいく。

「後半に組んだムソルグスキーの《展覧会の絵》も、作曲家の内面を表現したいと思っています。ムソルグスキーは、唯一理解してくれた親友である画家のヴィクトル・ハルトマンの死に遭遇し、生きる力を失っていた。そういう時期にハルトマンの絵を見て、《展覧会の絵》の作曲を思い立つんです。ですから、この作品は各曲に深い思いが込められているわけです」

藤岡幸夫はテレビやラジオ出演も多く、クラシック作品をわかりやすく、かつ個性的な見解で印象強く視聴者に語りかける。演奏も同様で、作品の新たな魅力を伝える。さらに恩師の渡邊暁雄やゲオルク・ショルティから受け継いだ精神を指揮棒に込める。

「渡邊暁雄先生もショルティ先生も、最晩年になってもけっして椅子にすわらず、ひとつのコンサートに命を懸けていました。その姿勢を受け継ぎたいのです」

ショルティからは手垢のついた指揮棒をプレゼントされたという。

「ショルティは若いころ苦労しましたから、若手に温かいまなざしを向けて支援を惜しみませんでした。いまのワレリー・ゲルギエフもそうですね。レッスンはきびしかったですが、ふだんはとても優しい人でした。印象に残っているのは、「指揮台に立ったら、最後まであきらめるな」といわれたことです」

渡邊暁雄のレッスンもきびしかった。

「私が初めて渡邊先生に棒のレッスンを受けたのが、実は《展覧会の絵》だったんです。最初はレッスンでも曲は振らせてもらえませんでした。この作品が初めて。まず、プロムナードだけを全部振って見ろといわれました。まったくダメでしたね、作品の理解ができていなかった。全部同じように振ったのでは意味がないのです。ひとつひとつのプロムナードに意味があることを学びました。その意味で、これは私にとってとても思い出深い作品なのです」

チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲で共演する神尾真由子とは初共演だ。

「とても楽しみです。名曲ですし、新春らしい輝かしい演奏になればと願っています」



©Shion Isaka

INTERVIEW 02

《響の森》vol.41
「ニューイヤーコンサート2018」

神尾真由子 (ヴァイオリン)

2007年チャイコフスキー国際コンクールで優勝の栄冠に輝いた神尾真由子。自家薬籠中の協奏曲を日本の新年に披露。コンクール優勝から10年の成長を存分に聴かせる。

取材・文／伊熊よし子(音楽評論家)

神尾真由子がチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲のすばらしさに開眼したのは、6歳のとき。五嶋みどりが演奏するのをテレビで見て、第2楽章にくぎ付けとなった。やがて10歳で五嶋みどりにレッスンを受ける幸運に恵まれたが、いまでも彼女が演奏して聴かせてくれた第2楽章が忘れられないという。自分も「みどりさんのような、人の心に響く演奏をしたい」と願っている。

「チャイコフスキーのこのコンチェルトは、第1楽章がとても長く、繰り返しも多く、メインを成しているといえます。広大さを感じさせ、フレーズも長いですね。しつこさと執念深さもある(笑)。第2楽章は短いですが、非常に美しい曲で、小さいころから大好きです。いまはこの第2楽章がとても得意なんです。第3楽章はいろんな場面が出てくる感じで、わかりやすい曲想だと思います。ロシアの民族舞曲であるトレパークが登場し、フィナーレはすごく盛り上がります。今回も、初共演の藤岡幸夫さんの指揮、何度か一緒に演奏している東京都交響楽団とともに、最後まで盛り上げていきたいと思っています」

神尾真由子は、昔から明るくかろやかな曲が苦手で、ほの暗い情熱、悲劇性、内面の豊かな作品に惹かれてきた。ロシア作品はその意味で自然な感覚で向き合うことができると語る。

「4、5歳のころからチャイコフスキーのコンチェルトが大好きで、これが弾けるようになるまでどんなに練習が辛くても絶対にヴァイオリンはやめないと心に決めていました。初めて演奏したのは12歳のとき。チャイコフスキー・コンクールを受けたときは、そのコンチェルトをロシアの耳の肥えた聴衆の前で演奏することができるんだ、そう自分にいきかせてステージに向かいました」

ただし、優勝の喜びに浸っていたのはほんの一瞬だけ。当時、師事していたザハール・ブロン教授に「これからはチャイコフス

キー・コンクールの優勝者として恥じない演奏を常に行わなければならない。もっと勉強して、練習練習の日々を送りなさい」といわれた。

「そのことば通り、それからはコンクールという採点される闘いではなく実際のステージでの闘いが始まりました。チャイコフスキーのコンチェルトに関しては、これまで何度か演奏してきましたが、自分の演奏に満足したことは一度もありません。どんなに完璧に演奏できたと思っても、次の瞬間にはもっとうまく弾けるはずだと思ってしまうからです」

この考えにより、ずっと録音は断り続けていた。「昨日の演奏も消したいくらい」という完璧主義者ゆえだ。だが、ようやく2008年春デビュー録音に踏み切り、やがて世界中の人々が待ち望んでいたチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲にも着手。共演は父クルト・ザンデルリンクの血を受け継いだ指揮者トーマス・ザンデルリンク。オーケストラはハレ管弦楽団、マンチェスターで録音が行なわれた。

「チャイコフスキーって、音楽が全体にしつこいですよね。かゆいところに手が届いているのにまだかいてくれるような感じ。もうおなかがいっぱいなのに、まだ食事が出てくる」

神尾真由子の語りは多くないが、出てくる言葉は非常にユニーク。それをサラリという。

現在の使用楽器は1731年製ストラディヴァリウス「ルビノフ」。パワフルで安定した音の楽器で、神尾真由子の音楽性に合っているという。その名器で奏でるチャイコフスキー、ロシアの広大な大地とほの暗さ、哀愁、華麗さ、ロマンなどさまざまな表情が存分に味わえ、新年の幕開けにふさわしいひとときが堪能できるに違いない。

INTERVIEW 03

第15回東京音楽コンクール 優勝者コンサート

ノ・ヒソン(ピアノ) / 荒井里桜(ヴァイオリン)
 ヘルバシオ・タラゴナ・ヴァリ(クラリネット)
 アレッサンドロ・ベヴェラリ(クラリネット)

8月に本選が行われた第15回東京音楽コンクールで第1位を獲得した4名に(木管部門は2名選出)、1月の「優勝者コンサート」への意気込みを伺いました。

取材・文／編集部 写真／堀田力丸



Q1 音楽(ピアノ)を始めたきっかけは?

ピアノ教室を営んでいる両親の影響で、自然にピアノに接するようになりました。幼い頃から、両親が沢山のクラシック音楽を聴かせてくれたのですが、特に、ピアノの旋律の素晴らしさに惹かれ、ピアノを始めました。

Q2 やめたいと思ったことは?

高校1年生の頃、少し辛い時期もありましたが、辞めたいと思ったことは、一度もありません。

Q3 本格的に音楽の道を志したのはいつ?そのきっかけは?

ロシアで学んだ叔母の勧めで、11歳頃から本格的にピアノを始めました。その頃から、叔母のレッスンを受けていました。その後、芸術中学校と芸術高校に通い、音楽性を養いました。

Q4 今、勉強していることと、これから勉強したいことは?

1月に演奏するベートーヴェンのピアノ協奏曲の勉強をしています。これから、プロコフィエフの協奏曲第2番の勉強を始めるところです。また、現在、ロシア人の生活と文学について学んでいますが、それに加えて、ラテン・アメリカの文学と社会についても勉強したいと思っています。

Q5 尊敬する音楽家は?

尊敬する音楽家は、グリゴリー・ソコロフです。彼は、ロシアのピアニストで、1966年に第3回チャイコフスキー国際コンクールで優勝しました。

ソコロフは、華麗なテクニックと深い音色、繊細なダイナミクス、奥深い感情表現が、とても魅力的です。彼の演奏を通して、音楽を一生愛する心を感じることが出来ました。私は彼の音楽と音楽に対する情熱を、とても尊敬しています。

Q6 どんな音楽家になりたいですか?

音楽は、言語と同じです。だからこそ、世界との疎通ができ、人々と共感する力があるのだと思います。私の音楽が、世界と人々を平和にする、出会いの架け橋になることを願っています。

Q7 東京音楽コンクールに応募したいきっかけは?

私の先生に、コンクールに応募することを勧められました。そして、東京音楽コンクールについて調べ、これから先、国際的なコンクールとして名声を上げるコンクールになると考え、応募を決意しました。

Q8 予選、本選で印象に残っていることはありますか?

第1次予選で、ベートーヴェンの《ヴァルトシュタイン》を弾いたのですが、とても満足のいく演奏が出来て、大変嬉しく胸がいっぱいになりました。本選のリハーサルでは、指揮者とオーケストラの皆様がとても親切に、私の演奏と呼吸が合うように配慮して下さい、本当に感謝しております。本選では、最後に演奏しましたが、会場の雰囲気が熱気に溢れていて、より情熱的に演奏することが出来ました。観客の方々の熱い歓声と拍手が、とても印象深く残っています。

Q9 東京文化会館大ホール、小ホールで演奏した感想は?

東京文化会館の大ホールは、華麗であり且つ壮大で、演奏者たちの演奏をより引き立たせてくれるようでした。自分の音楽が、聴衆の皆様へ最適な音響で届けられたことが良かったです。小ホールは、ちょうど良い広さで、ピアノの音ははっきりとした、とても良い響きでした。

Q10 優勝者コンサートで演奏するプログラムへの想いをお聞かせください。

何よりも、聴衆賞を頂くことができ、大変嬉しかったです。私の演奏を高く評価して下さいました聴衆の皆様へ、心から感謝致します。1月8日には、さらに良い演奏で皆様とお会いしたいと思っています。一生懸命に、励みます。



Q1 音楽(ヴァイオリン)を始めたきっかけは?

両親がもともとヴァイオリンの音が好きで、勧められたのがきっかけです。

Q2 やめたいと思ったことは?

あります。今では練習をとっても楽しんでいますが、昔は周りの友達が学校帰りに遊んでいるのを見て、ヴァイオリンをやっていたら、皆と一緒に遊べるのになと思って、羨ましくてしょうがなかったです(笑)。

Q3 本格的に音楽の道を志したのはいつ?そのきっかけは?

中学3年生くらいです。中学2年生の時に受けたコンクールで思ったより良い結果が出て、中学3年生の夏頃に、その時教えて頂いていた先生の推薦で芸高(東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校)を受験することを決めました。

Q4 今、勉強していることと、これから勉強したいことは?

今まで音に感情を表すことがなかなか身に付かず、それが一番の悩みだったのですが、最近ようやく自分の作りたい音楽が明確に分かってきて、それに対する音作りや曲全体の組み立て方を、今、試行錯誤して取り組んでいるところです。これからは、さらに多彩な音色や多種多様なビブラートを身に付け、また感性を磨き、場面場面によって自分の描く音楽に合った音が素直に表現できるように勉強していきたいです。

Q5 尊敬する音楽家は?

それはもう数え切れないほどですが、特に、三浦文彰さん、ジャーヌ・ヤンセンさんが好きです。

Q6 どんな音楽家になりたいですか?

弾き手にとっては本番は何度もあるかもしれませんが、聴きに来て下さった方の中にはその演奏が人生で最初で最後ということもあるかもしれません。それを常に頭に入れ、一つ一つの本番で、自分の音楽によって、より多くの方の心が安らくなるような音楽家になりたいです。

Q7 東京音楽コンクールに応募したいきっかけは?

開催が3年に2回と貴重な機会なことと、自分の成長を結果に出してみたかったので、思い切って挑戦しました。

Q8 予選、本選で印象に残っていることはありますか?

第1次予選は非公開審査なので、コンクールという雰囲気がすごく漂っていましたが、第2次予選はほぼ満席で、たくさんのお客様が聴きに来て下さっていて、途中からコンクールというよりコンサート気分、自分自身も楽しんで演奏していました。本選は、本番直前に緊張で手を滑らせて、楽屋を水浸しにしたことを一番覚えています(笑)

リハーサルと本番を通して、初めてプロオーケストラとコンチェルトの演奏で、後ろのオーケストラからの迫力や熱気を直接肌で感じました。圧倒されながらも、大好きなチャイコフスキーを自分も楽しみながら精一杯演奏できたことは、ヴァイオリンを始めてから今までの中で1番の思い出です。

Q9 東京文化会館大ホール、小ホールで演奏した感想は?

個人的には小ホールの響きがとても好きです。ただ、大ホールのような大きなホールで演奏したことがあまりなかったので、自分の音が遠くに飛んでいくようで弾いていて気持ちよかったです。

Q10 優勝者コンサートで演奏する曲目に対しての想いをお聞かせください。

メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲は、初めて演奏した小学校の頃から、ホ短調の哀愁漂う綺麗な旋律が大好きでした。この曲は自分の感情を出しつつも、それをソフトに表現することが一番難しいと思います。自分の表現をいかに濃く汲み入れられるかを追求したいです。

また、今回この名誉ある賞を頂けたことは、家族、友人、先生方などたくさんの方の支えがあり、初めて叶ったことでした。言葉では言い尽くせないくらいの感謝を、精一杯音に込めて演奏したいと思っています。ありがとうございました。

【第15回東京音楽コンクール 審査結果】

	ピアノ部門	弦楽部門	木管部門
第1位	ノ・ヒソン	荒井里桜(ヴァイオリン)	アレッサンドロ・ベヴェラリ(クラリネット) ヘルバシオ・タラゴナ・ヴァリ(クラリネット)
第2位	原田莉奈	三井静(チェロ)	該当者なし
第3位	丸山農民	バク・ハヤン(ヴィオラ)	伊藤優里(フルート)
入選 (演奏順)	太田糸音	チョン・ウチャン(チェロ) エリナ・ファスキトゥディンオワ(チェロ)	安井悠陽(ファゴット) 竹内久力(クラリネット)
聴衆賞	ノ・ヒソン	荒井里桜(ヴァイオリン)	ヘルバシオ・タラゴナ・ヴァリ(クラリネット)

【第16回東京音楽コンクールのご案内】

開催部門	弦楽、金管、声楽
日程(予定)	応募受付:平成30年4月(予定) 第1次予選:6月28日~7月6日(各部門2~3日) 第2次予選:8月20・22・24日(各部門1日) 本選:8月27・29・31日(各部門1日)
会場	第1次予選・第2次予選:小ホール 本選:大ホール

>> 詳細は決定次ホームページ等で発表します。



Q1 音楽(クラリネット)を始めたきっかけは?

私は音楽家一家に生まれました。幼い時から家には常に音楽があり、音楽はまるでもう一つの言語のような存在でした。私は父や兄たちと南米の音楽を演奏したものです。10代になると、ジャズ演奏に集中し、タンゴオーケストラに入団を許されました。そしてこのことを機に、私は今世紀以前の音楽にも興味と情熱を抱くようになったのです。

Q2 やめたいと思ったことは?

ありません。でも、建築学や工学を学びたいと考えた時期はありました(ウルグアイの大学でこれらの学部合格しましたが、入学して勉強をすることはありませんでした)。結局、これらの学部で勉強する中で、万が一、手を怪我したらどうなるのだろうかと考えて、作曲と編曲を勉強することに専念しました。ただし、作曲も編曲も今では趣味の範囲でしか行っていません。

Q3 本格的に音楽の道を志したのはいつ?そのきっかけは?

音楽家とは、自分で決断してなるものではありません。家族や友と分かち合う楽しいゲームを始める感覚で音楽への情熱が芽生え、それが何年もかけて心の中で大きくなっていくものです。そして後年、振り返ってみて初めて、「これだけのことをやってきたのだから、今の私は人が言うところの音楽家なのだな。」と思うものではないでしょうか。

Q4 今、勉強していることと、これから勉強したいことは?

私は多くのことを学んでいるところです。現在、私は3週間にわたりキューバに来ていますが、この国の人々の音楽への熱い思いを知ることでなりました。物質的には決して豊かな環境ではありませんが、あらゆるコンサートにおいて、それが彼らを制限することはありません。そして私が人生で今まで見てきたどの国よりも音楽家の割合が高い国だ!と感じています。

Q5 尊敬する音楽家は?

多くはありません。ボブ・マーリーは確実にその一人です。彼ほど強烈に音楽に生きた人はいません。また、ウルグアイの音楽家であり、ポップス音楽を数多く世に送り出しているアルフレド・シタローサからも多くを学びました。クラシック音楽の世界では、ツィメルマンに深く感動しました。彼は私が今まで聴いた芸術家の中で最も賢い芸術家であり、音のスペクトルと大変深いところで関わっています。いつの日か彼と共に演奏できたら!と思います。

Q6 どんな音楽家になりたいですか?

クラリネットを通してあらゆる音楽を探求していきたいです。そして演奏する作品の持つ深い意味にたどり着くことができたら、と思っています。

Q7 東京音楽コンクールに応募したいいきさつは?

このコンクールはそのレベルの高さでとてもよく知られています。組織的にもプロフェッショナルで、今までの優勝者も音楽シーンにおいて重要なゴールに到達しています。また、審査員は日本でも権威ある方々です。このコンクールは日本の音楽家が通るべき道ではないでしょうか。

Q8 予選、本選で印象に残っていることはありますか?

第2次予選でとても多くの方が聴いてくださったことがとても嬉しかったです。私はコンクールにおいては、皆さんがコンサートからサイタルの1つを聴いているような気持ちで聴いていただけるように心がけています。それだけに聴衆が全くいない会場には違和感があります。本選での東京交響楽団、そしてマエストロ山下氏と交わった美しいコミュニケーションは忘れません。

Q9 東京文化会館大ホール、小ホールで演奏した感想は?

それは奇跡のようなホールでした。出そうとする音色が期待以上の美しさで響きました。また、とても正直なホールでもあり、演奏者に聞こえてくる反響は、クリスタルのようにクリアです。同時に演奏者に優しく、いろいろな音の形成を試みることができ、それらは常に流れるように響きました。

Q10 優勝者コンサートで演奏するプログラムへの想いを聞かせください。

ウェーバーによるクラリネット協奏曲第2番、変ホ長調は、私のレパートリーの中でも大切な作品です。この協奏曲は作曲されてから忘れられることなく、常に演奏されてきた数少ない作品の一つです(この時代に書かれた協奏曲は後年再発見されたものが多いのです)。このことから、初期ロマン派のウェーバーの様式からおよそ2世紀にわたって、音楽演奏、楽器の発展、そして音楽の変容にこの作品が寄与したとも言えましょう。第2楽章はまるでレチタティーヴォを伴うアリアのようで、当時の管楽器にとっては全く新しいものでした。第1、第3楽章では、多くのブラブーラ(bravura: 高度なテクニックを求められる華麗な音楽)がみられるように、オープンな音程とパッセージといった具合に演奏者に高度なテクニックが求められるのです。



Q1 音楽(クラリネット)を始めたきっかけは?

8歳から音楽教育を受け、まずはピアノ、そして9歳からクラリネットを習いました。私はヴェローナの南に位置する村に生まれ、吹奏楽団でクラリネットを吹く機会を得ました。小さい時は様々な楽器を演奏するのが好きで、ピアノ、クラリネット、ギター、打楽器といった具合に様々な楽器を演奏しました。クラリネットを吹くきっかけには面白い話があります。私自身はサクソフォンが吹きたかったのですが、「アレッサンドロ、君はサクソフォンを吹くには小さすぎる、お願いだからクラリネットにしてくれないか」と先生に言われてクラリネットを吹くようになったのです。

Q2 やめたいと思ったことは?

一度もありません!!

Q3 本格的に音楽の道を志したのはいつ?そのきっかけは?

吹奏楽団にいた時、先輩たちがトランペットをマスターして、上手に演奏しているのをワクワクしながら見ていました。私は彼らのように吹きたくて、一生懸命練習して、上達しました。もう一つ、私を鼓舞させたのが、内田光子さんがリカルド・ムーティの指揮で弾いていたモーツァルトのピアノ協奏曲でした。私も彼女のような深みのある、優雅な音楽家になりたいと思うようになりました。

Q4 今、勉強していることと、これから勉強したいことは?

2017年2月から東京に住み、東京フィルハーモニー交響楽団で首席クラリネット奏者を務めています。今は大好きなオーケストラ作品を学び、演奏することに集中しています。多くの作曲家の魂を見出しながら、仲間と共に演奏できることをとても幸せに思います。将来の夢はたくさんあります。ピアノももっと上手になりたいと考えています(実は将来、モーツァルトのピアノ協奏曲第20番K.466を弾いてみたいのです...)。また、子供の時から熱い思いを抱いてきたジャズの即興演奏もやってみたいのです。ジャズ奏者によるクラリネット演奏を聴くのが大好きで、彼らの演奏から、より一層音楽を勉強するためのエネルギーをもらっています。演奏する喜び、自由、そして和声に対するさらなる知識をより広げていきたいと考えています。

Q5 尊敬する音楽家は?

尊敬し、多くのインスピレーションを与えてくれる音楽家は大勢います。その中であえて挙げるなら、ジャック・ズーン(フルート)、セルジオ・アツォーリニ(ファゴット)、ローマン・ギェイオとアレッサンドロ・カルボナーレ(クラリネット)、内田光子とアンドラー・シュ・シフ(ピアノ)です。

Q6 どんな音楽家になりたいですか?

世界に通じる音楽家になりたいです。素晴らしいソリスト、オーケストラの優秀な奏者、素晴らしい室内楽奏者、偉大な先生、そして、音楽の広報官のような存在になりたいです。クラリネットをあらゆる場所、とても親しみやすい雰囲気ジャズクラブからサントリーホールに至るまで、様々な場所で演奏したいと考えています。

Q7 東京音楽コンクールに応募したいいきさつは?

私はコンクールがとても好きです。コンクールを通して演奏が上達しますし、自分の限界点を超えて、成長することができるからです。今回は課題曲も大好きなレパートリーが多く、中でもシュポアのクラリネット協奏曲第4番が含まれていたことが、私に参加を決心させました。

Q8 予選、本選で印象に残っていることはありますか?

第1次、2次予選では少々ナーバスになっていました。でも本選ではオーケストラと共に演奏できることがとても嬉しく、一瞬一瞬を心から楽しみました。それから第2次予選でたくさんの聴衆が来てくださったことも、嬉しかったです。日本では本当に多くの方が音楽家のことを気にかけてくださいます。

Q9 東京文化会館大ホール、小ホールで演奏した感想は?

第1次予選での演奏が小ホールでの初めての演奏で、今まで小ホールで演奏したことはありませんでした。思ったより大きく、両側に広いことに驚きました。大ホールはとても美しく、とても特別な建築物であることがよくわかりました。ホール内には様々な色が用いられており、コンサートにおいて独特の雰囲気を醸し出していました。その中でオーケストラに囲まれて、音楽家同士で音楽を通して対話するのは本当に素晴らしい体験でした。

Q10 優勝者コンサートで演奏するプログラムへの想いを聞かせください。

コープランドのクラリネット協奏曲を演奏するのは私の夢でした。私はこの協奏曲を何年も勉強してきました。と言うのも、彼の音楽の内面的で、激しく、深い緩徐部分とジャズのスタイルが大好きなのです。このコープランドの協奏曲を通して、クラリネットの音色を人の声のような、生き生きしたものにするのができます。コープランドは、いろいろな響きが混ざり合ったような音色を生み出し、聴き手に様々なスタイルを感じさせてくれます。例えば、私は美しいクライマックスになるとビッグバンドによるジャムセッションを思わずにられません。



INTERVIEW 04

Music Program TOKYO
シャイニング・シリーズ Vol.2
藤木大地 カウンターテナー・リサイタル

藤木大地 (カウンターテナー)

ウィーン国立歌劇場で

日本人初のカウンターテナーとして出演した

藤木大地が「日本のうた」117年の歴史をうたう。

取材・文/小室敬幸(作曲/音楽学)

— 今度のリサイタルでは「日本のうた」を中心にプログラムが組まれています。

今回の会場が上野だということが大きくて、(明治維新後に)上野で日本の西洋音楽は生まれた場所なわけですよね。以前、瀧廉太郎や幸田姉妹がドイツに留学した、メソッドを学んだということを知った機会があって。だから上野の地で日本の西洋音楽の最初から始めたいと思ったので1900年に書かれた「花」を選び、そこから2017年まで。117年間の日本の音楽の歴史をアカデミックにやりたかったんです。

— 何故か、あいだに英語の歌が3曲はさまれていますね。

日本のうただけで最初から最後やるのも面白くないなと思ったときに、同じ時代にヨーロッパやアメリカで何が作られていたのかを並べてみようと考えました。説明しなくてもお客様が何か考えるきっかけになると思うんです。

— そして、藤木さんが作曲を依頼された曲が、3つ並んでいますね。まずは西村朗さんの作品。

委嘱の際には「日本語のテキスト」「ピアノ伴奏」「再演したいと思える曲」とお願いしました。初演の時も松本和将君だったので、ピアニストへの要求が高い作品になっていますね。歌曲なんですけど、ピアノパートの方の響きがまずあって、そこに声を入れていくような感じを意図しているんだろうなと。だから歌曲というより、室内楽曲に近いです。

— 続いての増田真結さんと清水慶彦さんの共作は?

こちらの場合は「日本語」「長さを10分ぐらい」とお願いして、あとはお任せしました。挽歌というタイトルの通り、これはレクイエムなんです。初演されたのが2015年だったので終戦から70年、そして2011年の東日本大震災という2個の柱を意識して、山頭火の詩から波が襲ってくるというような内容のテキストを彼らは選んでいます。

戦争にしても震災にしても、日本にいる人にとって共通の記憶で

すよね。2曲目の「12:00」というのは終戦の時刻、3曲目の「14:46」は地震が起こった時刻で、敢えて曲名に時間が刻まれている。初演のとき、お客様はいつも音楽を聴いている人ばかりではなかったんですが、すごく引き込まれてくださった感じがありました。

— 加藤昌則さん作曲の「てがみ(2016)」は、藤木さんのCD「死んだ男の残したものは」にも収録されていますね。

彼の曲をCDに収録したいと言ったら、「1曲書きたい」と言ってくれて生まれた、3拍子のお洒落な曲です。

— こうした新しい作品に取り組まれる意義について、どのように捉えていらっしゃいますか?

どんな時代でも、作曲家と演奏家は同じ時代を生きていて、そういう時代から生まれた曲をいまだに我々は愛して演奏しているということを考えれば、いま曲が生まれることも、その曲を歌うことも自然なことなんです。それに気付くと、曲に対してのアプローチも変わってくるんです。

— 藤木さんの歌われる日本語は歌詞が聞き取りやすく、言葉の意味がずっと入ってくるのが印象的です。

音楽を演奏する人とそれを受け取る人とのコミュニケーションを行う場がコンサートだと思うんです。そういう基本に立ち戻ると、自然でなければならぬし、伝わらなければならぬ。そうでなければ、ただ音を出しているという行為に過ぎないんです。言葉を発して、それを人の心に届けるってということが僕にとっての歌なので、日本語以外の言葉でも同じアプローチをしています。

— 今回の松本さんもそうですが、いわゆる伴奏者タイプではなくソリストタイプの演奏家と共演されることが多いですね。

そもそも歌と伴奏という考え方を殆どしていなくて、やっぱり室内楽なんです。だから、どっちもソリストで良いと思っているんです。お互いを高め合える音楽を演奏したいですね。



《響の森》コンサート

大ホール

2018年の「聴き初め」は東京文化会館で!チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲や「展覧会の絵」など、名曲中の名曲をお楽しみください。

vol.41「ニューイヤーコンサート2018」

平成30年1月3日(水) 15:00

出演 指揮:藤岡幸夫
ヴァイオリン:神尾真由子
管弦楽:東京都交響楽団
曲目 ヨハン・シュトラウスII世:ワルツ「南国のバラ」
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲「展覧会の絵」



藤岡幸夫 ©Shin Yamagishi 神尾真由子 ©Shion Isaka

速報 vol.42「コバケン 名曲アラカルト」

平成30年6月26日(火) 19:00

出演 指揮:小林研一郎
ヴァイオリン:南紫音*
管弦楽:東京都交響楽団
曲目 ベートーヴェン:ロマンズ第2番 へ長調 op.50*
サラサーテ:ツイゴイネルワイゼン op.20*
サン=サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ op.28*
スメタナ:連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」
ブラームス:ハンガリー舞曲第4番 嬰へ短調、第5番 ト短調
ドヴォルザーク:スラヴ舞曲第1番 八長調、第10番 ホ短調
チャイコフスキー:序曲「1812年」 op.49



小林研一郎 ©清田聡 南紫音 ©Shuichi Tsunoda

料金 S席6,200円 A席4,100円 B席2,100円 ※各種割引あり
(Vol.41:販売中/ B席売切、Vol.42:平成30年1月26日(金)発売[東京文化会館友の会・都響会員先行発売:1月19日(金)])

第15回東京音楽コンクール 優勝者コンサート

大ホール

将来の音楽界を担い、東京文化会館から羽ばたく新進アーティストの熱演に、どうぞご期待ください!

平成30年1月8日(月・祝) 15:00

出演 クラリネット:ヘルバシオ・タラゴナ・ヴァリア *木管部門第1位及び聴衆賞
ヴァイオリン:荒井里桜 *弦楽部門第1位及び聴衆賞
クラリネット:アレクサンドロ・ベヴェラリ *木管部門第1位
ピアノ:ノ・ヒソン *ピアノ部門第1位及び聴衆賞
指揮:円光寺雅彦
管弦楽:新日本フィルハーモニー交響楽団
司会:朝岡聡
曲目 ウェーバー:クラリネット協奏曲第2番 変ホ長調 op.74(ヘルバシオ・タラゴナ・ヴァリア)
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64(荒井里桜)
コーブランド:クラリネット協奏曲(アレクサンドロ・ベヴェラリ)
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調「皇帝」 op.73(ノ・ヒソン)



ヘルバシオ・タラゴナ・ヴァリア ©井村重人 荒井里桜 ©井村重人 アレクサンドロ・ベヴェラリ ©三浦興一 ノ・ヒソン 円光寺雅彦 ©三浦興一 朝岡聡

料金 指定2,000円 ※各種割引あり(販売中)

創遊・楽落らいぶ —音楽家と落語家のコラボレーション—

小ホール

音楽と落語を楽しめるお得なコンサート。落語と音楽のコラボレーションをお楽しみください。

vol.41 平成30年2月8日(木) 19:00~20:30(予定)

出演 落語:笑福亭鶴光
尺八:三橋貴風 箏:外山香
内容 第1部:ミニコンサート
第2部:落語と音楽のコラボレーション
「善悪双葉の松」



笑福亭鶴光

vol.42 速報 平成30年5月25日(金) 11:00~12:00

出演 落語:瀧川鯉朝
クラリネット:三界秀実(東京都交響楽団首席奏者)
内容 第1部:ミニコンサート
第2部:落語と音楽のコラボレーション「宮戸川」



瀧川鯉朝

料金 Vol.41:自由1,000円(販売中) Vol.42:自由500円(2月8日(木)発売)

プラチナ・シリーズ MPT

小ホール

「奇跡の音響」と称される小ホールで、贅沢なひとときを。一流アーティストによる珠玉のコンサート・シリーズです。

第4回 北村英治カルテット ～クリスマス・ジャズナイト～

12月22日(金) 19:00

出演 クラリネット：北村英治
ピアノ・ヴォーカル：高浜和英
ベース：山口雄三
ドラム：八城邦義

曲目 りんごの木の下で
ウィンター・ワンダーランド
ザ・クリスマス・ソング
メモリーズ・オブ・ユー
シング・シング・シング 他



北村英治

第5回 イザベル・ファウスト ～現代最高峰の無伴奏ヴァイオリン～

平成30年1月22日(月) 19:00

出演 ヴァイオリン：イザベル・ファウスト

曲目 J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番 ホ長調 BWV1006
無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第3番 八長調 BWV1005
無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番 ト短調 BWV1001
無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 二短調 BWV1004

イザベル・ファウスト
© Detlev Schneider

料金 S席5,000円 A席4,000円 B席2,500円(第4回・第5回：予定枚数終了)

シャイニング・シリーズ MPT

小ホール

国内外で活躍する若手実力派が出演する新シリーズ。

Vol.2 藤木大地 カウンターテナー リサイタル

平成30年2月4日(日) 15:00

出演 カウンターテナー：藤木大地
ピアノ：松本和将

曲目 瀧 廉太郎：花
R.ヴォーン・ウィリアムズ：リュートを弾くオルフェウス
岡野貞一：春の小川
中山晋平：ゴンドラの唄
H.ハウエルズ：グヴィデ王
弘田龍太郎：叱られて
近衛秀麿：ちんちん千鳥
山田耕筰：鐘がなります
別宮貞雄：さくら横ちょう
中田喜直：ゆく春
L.パーンスタイン：「ミサ」より シンプル・ソング



藤木大地



松本和将

武満 徹：死んだ男の残したものは
林 光：「四つの夕暮の歌」より 死者の迎える夜のために
小林秀雄：落葉松
木下牧子：鴉
西村 朗：木立をめぐる不思議(2015)*
増田真結、清水慶彦：山頭火による挽歌《白い函》(2015)*
1. 白い函(増田真結)
2. 12:00(増田真結)
3. 14:46(清水慶彦)
4. 白い函(清水慶彦)
加藤昌則：てがみ(2016)* 他 *藤木大地委嘱作品

料金 指定3,000円 25歳以下1,000円(販売中)

Workshop Workshop! 音楽がヒラク未来 Music, shaping our future MPT

ミニ・コンサート

新進アーティストによる60分コンサート。これからの音楽界を彩る彼らの「今」をお楽しみください。

平成30年3月2日(金) 11:00～12:00

出演 クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン
ピアノ：中野翔太

会場 東京文化会館 小ホール

料金 自由500円

※詳細は12月中旬 HPで公開予定

平成29年度全国4館連携フォーラム実施報告会

今年度は全国4都市(東京、札幌、上田、北九州)でフォーラムが実施されました。各地域における課題から、これからの芸術文化の担い手に求められることは何か、今何をすべきか、芸術文化関係者とアーティストが討議します。

平成30年3月2日(金) 12:30～19:00(予定)

会場 東京文化会館 大会議室ほか

定員 50名程度(事前申込制)

※詳細は12月中旬 HPで公開予定

上野 de クラシック

小ホール

「モーニングコンサート」がリニューアル！東京音楽コンクール入賞者によるクラシックコンサートをお楽しみください。

12月15日(金) 19:00～20:00 ★★

出演 テノール：村上敏明 *第3回声楽部門第3位
ピアノ：江澤隆行

曲目 ララ：グラナダ
清水 脩：落葉のように
武満 徹：死んだ男の残したものは
ブッチーニ：オペラ「トゥーランドット」より
“誰も寝てはならぬ” 他



村上敏明

2月17日(土) 14:00～16:00(休演会) ★★★

出演 ピアノ：黒岩航紀
*第11回ピアノ部門第1位及び聴衆賞
サクソフォン：上野耕平

曲目 ワーグナー (タウジツヒ編)：
楽劇「ワルキューレ」よりワルキューレの騎行(ピアノ ソロ)
ガーシュウィン：アイ・ガット・リズム(ピアノ ソロ)
シュミット：レジェンド op.66 他

黒岩航紀
© 井村重人

上野耕平

平成30年1月19日(金) 11:00～12:00 ★

出演 ピアノ：チョン・キュビン *第14回ピアノ部門第1位

曲目 J.S.バッハ：プレリュードとフーガ第14番
嬰へ短調 BWV883
ヤナーチェク：ピアノ・ソナタ「1905年10月1日の街角で」
リスト：ピアノ・ソナタ 口短調



チョン・キュビン

3月6日(火) 11:00～12:00 ★

出演 チェロ：藤原秀章 *第13回弦楽部門第2位
ピアノ：開原由紀乃 *第14回ピアノ部門第3位

曲目 サン＝サーンス：「動物の謝肉祭」より「白鳥」
ブーランク：チェロ・ソナタ 他



藤原秀章

速報 4月～6月ラインアップ

4月25日(水) 11:00～12:00 ★★/ヴァイオリン：依田真宣、瀧村依里、小川響子、植村太郎 ヴィオラ：瀧本麻衣子、村松 瀧
チェロ：富岡康太郎、加藤陽子 コントラバス：高橋洋太 ピアノ：居福健太郎

5月18日(金) 19:00～20:00 ★★/ピアノ：居福健太郎

6月22日(金) 11:00～12:00 ★/フルート：梶川真歩

料金 ★自由500円 ★★自由1,000円 ★★★自由1,500円(12～2月分：販売中、3月：予定枚数終了、4～6月分：1月8日(月・祝) 発売)

Workshop Workshop! ～国際連携企画～ MPT～0歳から大人まで～見つけよう、音楽で広がる新しい世界
ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」等と連携し、様々なワークショップを開催します。東京文化会館
ミュージック・ワークショップ

リハーサル室

平成30年1月14日(日)

「森の王様のフェスタ」

10:30(19～35ヶ月)/12:00(3～4歳)/14:30(5～6歳(未就学児))

3月4日(日)

「動物たんてい～かくれているのは、だあれだ?～」

10:30(6～18ヶ月)/12:00(19～35ヶ月)

「ミュージック・クロック」

14:30(小学生～大人)

料金 参加料500円(販売中、
「森の王様のフェスタ」・「動物たんてい」：予定枚数終了)

東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 立川

平成30年1月27日(土)・28日(日) たましんRISURUホール

1月27日(土)

「森の王様のフェスタ」

11:00(6～18ヶ月)/13:30(4～6歳(未就学児))

「GO! ワイルド!」

13:00(小学生～大人)

1月28日(日)

「森の王様のフェスタ」

10:00(19ヶ月～3歳)

「はじめましてクラシック～ヴァイオリン&ピアノ～」

10:30～11:30(6～18ヶ月)/12:30～13:30(19ヶ月～3歳)

「ムジカ・ピッコラ」

14:30(4～6歳(未就学児))

料金 参加料300円(事前申込制/1月16日(火) 締切
詳しくはチラシやホームページをご覧ください)

ミュージック・ワークショップ・フェスタ(冬)

12月3日(日)まで開催中 東京文化会館・文京シビックセンター

12月1日(金)

東京文化会館オリジナル・ワークショップ A (新制作)

「チーズを探せ! くいしんぼうネズミ!」文京

10:00(6～18ヶ月)

東京文化会館オリジナル・ワークショップ B (新制作)

「ミュージック・レター」文京

11:30(19～35ヶ月)

「動物たんてい～かくれているのは、だあれだ?～」文京

11:30(6～18ヶ月)/13:30(19～35ヶ月)

「ボディ・ビート」文京

14:00(小学生～大人)

12月2日(土)

「ライオン・ビート」文京

10:00(6～18ヶ月)/11:30(19～35ヶ月)

「旅するヨーロッパ!」文京

10:00(3～4歳)/11:30(5～6歳(未就学児))

「One Day コーラス」文京

10:30(小学生～大人)

「リズムカル・キッチン」文京

14:30(小学生～大人)

12月3日(日)

「はじめましてクラシック～ヴァイオリン&ピアノ～」文京

10:00(19～35ヶ月)/11:30(6～18ヶ月)

「タネまき、タネまき、大きくなあれ!」文京

10:30(19～35ヶ月)/12:00(3～4歳)

「クラシックであそぼう!」文京

15:00(小学生～大人(6ヶ月以上入場可))

料金 参加料500円(販売中)

One Day コーラス
© Mino Inoueクラシックであそぼう!
© Mino Inoue



バックステージツアー

《舞台編》

平成30年1月9日(火) 14:30/19:00

料金 参加料500円(販売中)

大ホール



【共催公演】東京音楽コンクール入賞者リサイタル

小ホール

田原綾子ヴィオラ・リサイタル

12月17日(日) 14:00

出演 ヴィオラ:田原綾子 *第11回弦楽部門第1位及び聴衆賞
 ピアノ:須関裕子
 ヴァイオリン:毛利文香、山根一仁
 チェロ:上野通明

曲目 ブラームス:F.A.E.ソナタより 第3楽章 スケルツォ ハ短調 WoO.2
 シューベルト:アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821
 西村 朗:無伴奏ヴィオラ・ソナタ第2番(C線のマントラ)
 プロコフィエフ(編曲:V.ボリソフスキー):パレエ音楽
 「ロメオとジュリエット」op.64より(ヴィオラとピアノ版)
 コダーイ:2つのヴァイオリンとヴィオラのためのセレナード op.12
 ブラームス:三重奏曲 イ短調 op.114



田原綾子

料金 指定3,000円(販売中)

主催・問合せ AMATI 03-3560-3010
 共催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

コハーン・イシュトヴァーン クラリネット・リサイタル with 金子三勇士

平成30年2月3日(土) 18:00

出演 クラリネット:コハーン・イシュトヴァーン
 *第11回木管部門第1位及び聴衆賞
 ピアノ:金子三勇士

曲目 シューマン:ヴァイオリン・ソナタ第1番(クラリネット編)
 プロコフィエフ:ヴァイオリン・ソナタ第2番(クラリネット編)
 バルトーク:ルーマニア民俗舞曲
 リスト=コハーン:ハンガリー狂詩曲 組曲
 ブラームス=コハーン:ハンガリー舞曲 組曲



コハーン・イシュトヴァーン

料金 指定4,000円 学生3,000円 ※友の会会員割引あり(販売中)

主催・問合せ LAKESHORE MUSIC 080-4411-1754
 共催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

上野通明チェロ・リサイタル

3月5日(月) 19:00

出演 チェロ:上野通明 *第10回弦楽部門第2位
 ピアノ:須関裕子

曲目 ヤナーチェク:おとぎ話
 リゲティ:無伴奏チェロ・ソナタ
 ストラヴィンスキー:イタリヤ組曲
 デュティユー:ザッハーの名による3つのストローフェ
 ブラームス:チェロ・ソナタ第2番 へ長調 op.99



上野通明

料金 自由3,000円 ※友の会会員割引あり(販売中)

主催・問合せ アンドビジョン株式会社 03-3278-3450
 共催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

MPT What's "Music Program TOKYO"?

世界的な音楽都市である東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する(Enjoy Music!)、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、その他の教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

TICKET

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket/>都響ガイド 0570-056-057 <http://www.tmsa.or.jp/>チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>イープラス <http://eplus.jp/t-bunka/>ローソンチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com/>

※公演により取扱いのないプレイガイドもございます。
 ※都合により内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。(一部のコンサート/ワークショップを除く)
 ※料金は税込みです。

お問合せ

東京文化会館事業係 03-3828-2111(代表)
www.t-bunka.jp Twitter@tbunka_official

日本と世界を結ぶマリンバの母
安倍圭子

文/悠 雅彦(音楽評論家)

もし安倍圭子という存在がなかったら、日本のマリンバ音楽が今日のような活況を迎えることは夢で終わっていたかもしれない。出田りあ、塚越慎子らがパリ国際マリンバ・コンクールでグランプリに輝いたり、神谷百子がルクセンブルグ・コンクールでのソロ・マリンバ部門で優勝するなどの快挙にしても、先駆者としての安倍圭子の存在があったからこそその果実と強調したいほど。1960年春からマリンバ演奏家としての活動に着手し、驚進的な演奏家魂でマリンバ音楽の魅力を多くの人々に開眼させたひたむきな活動をはじめとする、それ以降の成熟した演奏活動にいたる彼女の奮闘があったからこそその単身で切り開いた土壌の上に、世界に誇る花々が開花している現れと言えるほどの若いマリンバスターの活躍という過言ではないはずだ。〈題名のない音楽会〉での塚越慎子の演奏がファンの中で話題となったり、三村奈々恵のCDが注目を集めるという一昔前はなかったニュースが生まれているのも、2017年11月に『枕草子とバッハ』なるユニークな趣向のリサイタルで驚異的な技量と演奏を披露した名倉誠人という若きヴィルトゥオーソが登場してきたのも、安倍圭子が荒地を単身で耕してきた奮闘があったからこそそのマリンバ新展開と私はあえて言いたいと思う。

かつてジャズ評論家の故岩波洋三が生前、安倍圭子を絶賛していたことを思い出す。彼女のことをほとんど知らなかった当時の私は聞き流すしかなかったが、安倍圭子のテクニックは言うに及ばず、音を即興的に操る自由な歌心を持っていることを見抜いていればこそその氏の称賛だったのだろう。彼女について書かれた評伝、『KEIKO ABE/A Virtuosoic Life〜マリンバと歩んだ音楽人生』(レベッカ・カイト)にこんなくだりがある。代理でスタジオ吹込をしないかと誘われた彼女が、コロムビアのセッションに参加した時の話。このときのアレンジャーがのちに数々の映画やTVの音楽に腕をふるい、シンセサイザー音楽作品でも世界的な反響を呼んだ故富田勲(彼が作曲したNHK『きょうの料理』のテーマに聴こえるマリンバは安倍圭子)。

〈1957年、圭子が20歳、大学二年生の時、(中略)若い作曲家でコロムビアのアレンジャーでもあった富田勲がこの時のアレンジャーだった。富田は安倍を出迎え、すぐにこう尋ねた。「コード進行表を見るだけで、ハーモニーをインプロヴィゼーションできますか?」「はい、できます」と彼女は答えた。圭子は笹谷雅子からハーモニーとインプロヴィゼーションを学んでおり(中略)彼女の好きなマリンバの音は、深く、低く、たっぷりとして――まるでオルガンのような音であった。(中略)富田は安倍の演奏にすっかり満足し、その後何度も、レコーディングスタジオに来るように頼んだ」と、カイトは記した。

故岩波洋三は恐らく安倍圭子のインプロヴィゼーション(即興演奏)を聴いて感嘆したのだろう。



安倍圭子 1979年10月5日 自宅にて 写真/木之下 晃

彼女は演奏家としてはむしろだが、音大での講師や、イーストマン音楽院、ミシガン大学、パリ国立高等音楽院等のマスタークラスの指導に当たり、85年からはユトレヒト音楽大学の客員教授を務めた。80年代に入ると欧米でのコンサート・ツアーを展開し、その活躍が認められて93年に国際打楽器協会からの〈名声の殿堂〜栄誉賞〉を受賞した。

また、僚友の田村拓男(現日本音楽集団名誉理事)は安倍の勧めに従って日本の代表的作曲家・故三善晃に作品を委嘱した。そこで生まれた「マリンバのための組曲『会話』」や彼女が初演した「トルスⅢ」は重要なレパートリーとなった。彼女はカイトに語った。「私の目的はマリンバのために芸術性の高いレパートリーを作り上げることでした」と。

かくしていよいよ、世界マリンバ界の大御所、安倍圭子の傘寿記念演奏会が当夜、幕を開ける。

会場は安倍圭子にとっての古巣、東京文化会館。大ホールでN響とメシアンの大曲を演奏して以来、ここは彼女にとって切っても切れぬ縁の深い会場だ。安倍圭子記念オーケストラを指揮するのは指揮界の雄、僚友でもある井上道義。彼女は傘寿を一気に吹き飛ばす演奏を披露するに違いない。

大ホール

3 水 15:00	東京文化会館《響の森》vol.41 ニューイヤーコンサート2018 <small>主催公演 P9参照</small>
4 木 18:30	劇場創立150周年記念ウクライナ国立歌劇場来日公演フェスティバル キエフ・バレエ『ドン・キホーテ』
5 金 13:00	劇場創立150周年記念ウクライナ国立歌劇場来日公演フェスティバル キエフ・バレエ『白鳥の湖』
6 土 11:30 16:00	劇場創立150周年記念ウクライナ国立歌劇場来日公演フェスティバル キエフ・バレエ『白鳥の湖』
7 日 10:00	東京都高等学校文化祭 音楽部門中央大会
8 月・祝 15:00	第15回東京音楽コンクール 優勝者コンサート <small>主催公演 P9参照</small>
9 火 14:30 19:00	東京文化会館バックステージツアー 〈舞台編〉 <small>主催公演 P12参照</small>

13 土 14:00 18:30	谷桃子バレエ団新春公演『白鳥の湖』全幕
14 日 14:00	都民劇場音楽サークル第652回定期公演 チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル
17 水 19:00	東京都交響楽団第847回定期演奏会 Aシリーズ <small>P21参照</small>
18 木 19:00	2018都民芸術フェスティバル参加公演 藤原歌劇団公演オペラ『ナヴァラの娘』『道化師』
27 土 14:00	2018都民芸術フェスティバル参加公演 藤原歌劇団公演オペラ『ナヴァラの娘』『道化師』
28 日 14:00	2018都民芸術フェスティバル参加公演 藤原歌劇団公演オペラ『ナヴァラの娘』『道化師』

小ホール

4 木 15:00	2018 ズーラシアンプラス ニューイヤーコンサート
5 金 19:00	第33回 齋藤行 クラリネット・リサイタル
6 土 14:00	山内のり子 ピアノ・リサイタル
8 月・祝 14:00	合唱団 洋(うみ) 25周年記念コンサート
9 火 19:00	柳川守 ピアノ・リサイタル
10 水 19:00	山口ちなみ ピアノ・リサイタル Vol.2
11 木 19:00	ムジカ・ボヘミカ第33回ピアノ演奏会 ヤン・ホラク教授メモリアル
12 金 18:30	竜馬四重奏 The Live SAMURIZE ~新春の宴~
13 土 12:00 15:00	「ふれあいトリオ」コンサート 障害をお持ちの方へ贈る招待コンサート
14 日 14:00	吉岡孝悦ニューイヤーマリンバコンサート
19:00	Super Recorder Quartet 2018 こんなリコーダーが聴きたかった! Vol.9 (3rd CD 発売記念)
17 水 19:00	新進演奏家育成プロジェクトリサイタル・シリーズ TOKYO69 堀口憲一 オーボエ・リサイタル
18 木 19:00	トリオ ソラ〜三都物語 Vol.4〜

19 金 11:00 19:00	上野 de クラシック <small>主催公演 P11参照</small>
20 土 14:00	ゴルトベルク変奏曲〜高橋 望によるパッサハの世界
21 日 14:30	利根英法記念邦楽コンクール 第4回 ~アンサンブル~
22 月 19:00	Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ 第5回 イザベル・ファウスト ~現代最高峰の無伴奏ヴァイオリン~ <small>主催公演 P10参照</small>
23 火 19:00	クローバー・サクソフォン・クワルテット
24 水 19:00	2018都民芸術フェスティバル参加公演 日本の歌・シリーズ No.3 日本人の愛のかたち Vol.2〈うた〜歌〜唄〜詩〉
25 木 19:00	新進演奏家育成プロジェクトリサイタル・シリーズ TOKYO70 市川友佳子 ヴァイオリン&ヴィオラ・リサイタル
26 金 19:00	菱沼智明 ピアノ・リサイタル シューベルトの夕べ
27 土 14:30	日本テレマン協会 第248回定期演奏会
28 日 13:30	天満敦子 無伴奏ヴァイオリン・コンサート
29 月 19:00	モルゴア・カルテット25thアニバーサリーコンサートII
30 火 19:00	2017-2018 Winter 東京室内管弦楽団 Chamber Music Style op.9 ~The Bach Variation ~
31 水 19:00	佐伯周子ペーレンライター 新シューベルト全集に拠る ピアノソロ曲完全全曲演奏会 Vol.23

休館日: 1日(月)・2日(火)・15日(月)・16日(火)

休館日: 1日(月)~3日(水)・15日(月)・16日(火)

大ホール

2 金 18:30	ハンブルク・バレエ団『椿姫』 演目『椿姫』プロローグ付全3幕 振付・演出 ジョン・ノイマイヤー 出演 ハンブルク・バレエ団 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団 料金 S23,000 A20,000 B17,000 C14,000 D11,000 E8,000 他 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888	
3 土 14:00		
4 日 14:00		
7 水 19:00	ハンブルク・バレエ団〈ジョン・ノイマイヤーの世界〉 演目〈ジョン・ノイマイヤーの世界〉 振付・演出・語り ジョン・ノイマイヤー 出演 ハンブルク・バレエ団 料金 S23,000 A20,000 B17,000 C14,000 D11,000 E8,000 他 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888	
10 土 14:00	ハンブルク・バレエ団『ニジンスキー』 演目『ニジンスキー』全2幕 振付・舞台装置・衣裳 ジョン・ノイマイヤー 出演 ハンブルク・バレエ団 料金 S23,000 A20,000 B17,000 C14,000 D11,000 E8,000 他 問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888	
11 日 14:00		
12 月・祝 14:00		

休館日: 26日(月)・27日(火)

東京文化会館チケットサービスのご案内

当館で開催される、オペラ、バレエ、クラシックコンサート等のチケットを多数取り揃えております。窓口、お電話の他、インターネットでもご購入いただけます。ぜひご利用ください。

- ◆窓口 10:00~19:00
- ◆TEL 03-5685-0650(10:00~18:00)
- ◆HP <http://www.t-bunka.jp/>
- ◆休業日 12月/18日(月)・19日(火)・29日(金)・30日(土)
1月/1日(月・祝)・2日(火)・15日(月)・16日(火)
2月/26日(月)・27日(火)
3月/12日(月)・13日(火)

21 水 18:00	2018都民芸術フェスティバル参加公演 東京二期会オペラ劇場 ワーグナー作曲オペラ『ローエングリン』 演目 ワーグナー:オペラ『ローエングリン』 (字幕付原語(ドイツ語)上演)全3幕(新演出上演) 指揮 準・メルクル 演出 深作健太	
22 木 14:00	出演 (21日・24日) (22日・25日) ハインリヒ・デア・フォークラー:小鉄和広 金子宏 ローエングリン:福井敬 小原啓楼 エルザ・フォン・ブラバント:林正子 木下美穂子 フリードリヒ・フォン・テルラムント:大沼徹 小森輝彦 オルトルート:中村真紀 清水華澄 王の伝令:友清崇 加賀清孝 4人のブラバントの貴族:吉田連 菅野敦 鹿野浩史 櫻井淳 勝村大城 湯澤直幹 清水宏樹 金子慧一 丸山敦史	
24 土 14:00	ローエングリン(青年時代):丸山敦史	
25 日 14:00	合唱 二期会合唱団 管弦楽 東京都交響楽団 料金 【21日24日25日】 S17,000 A14,000 B11,000 C8,000 D5,000 E2,000 学生2,000 【22日 ※平日マチネススペシャル料金】 S15,000 A12,000 B10,000 C8,000 D5,000 E2,000 学生2,000 問合せ 二期会チケットセンター 03-3796-1831 チケットスペース 03-3234-9999	

- 掲載情報は2017年11月20日現在のものです。
- 主催者等の都合により、公演内容が変更になる場合があります。また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。詳しくは各主催者にお問合せください。

アルト(A)/アコーディオン(Ac)/アルトサクソ(A-Sax)/バンドネオン(Bn)/バリトン(Br)/バリトンサクソ(Br-Sax)/バス(Bs)/バスバリトン(Bs-Br)/コントラバス(Cb)/チェンバロ(Cem)/合唱(Cho)/クラリネット(Cl)/指揮(Cond)/カウンターテナー(CT)/ドラムス(Ds)/ユーフォニアム(Eu)/ファゴット(Fg)/フルート(Fl)/フォルテピアノ(Fp)/ヴィオラ・ダ・ガンバ(Gb)/ギター(Gt)/ハープ(Hp)/ホルン(Hr)/キーボード(Key)/マリンバ(Mar)/メゾソプラノ(Ms)/オーボエ(Obo)/オルガン(Og)/パーカッション(Pc)/ピアノ(Pf)/リコーダー(Rec)/ソプラノ(S)/サクソ(Sax)/ソプラノサクソ(S-Sax)/シンセサイザー(Syn)/テノール(T)/トロンボーン(Tb)/ティンパニ(Tim)/トランペット(Tp)/テナーサクソ(T-Sax)/チューバ(Tu)/ヴィオラ(Va)/チェロ(Vc)/ヴィブラフォン(Vib)/ヴァイオリン(Vn)/ヴォーカル(Vo)

小ホール

1 木 19:00	伊藤曜子 ピアノ・リサイタル 曲目 ドビュッシー:花火(前奏曲集第2集より) 他 問合せ ミリオンコンサート協会 03-3501-5638	
2 金 19:00	慶児道代 ソプラノ・リサイタル 出演 慶児道代(S) 石井里乃(Pf) 曲目 スマタナ:「夕べの歌」他 料金 自由5,000 学生2,000 問合せ テンポプリム 03-3524-1221	
3 土 18:00	東京音楽コンクール入賞者リサイタル コハーン・イシュトヴァーン クラリネット・リサイタル 共催公演 P12参照 出演 コハーン・イシュトヴァーン(Cl) 金子三勇士(Pf) 曲目 プラームス=コハーン:ハンガリー舞曲組曲 他 料金 指定4,000 学生3,000 問合せ LAKESHORE MUSIC 080-4411-1754	
4 日 15:00	Music Program TOKYO シャイニング・シリーズ vol.2 ~藤木大地カウンターテナー・リサイタル~ 主催公演 P10参照 出演 藤木大地(CT) 松本和将(Pf) 曲目 武満徹:死んだ男の残したものは 他 料金 指定3,000 25歳以下1,000 問合せ 東京文化会館 事業係 03-3828-2111	
5 月 19:00	長岡京室内アンサンブル 東京公演 出演 森悠子(Vn・音楽監督) 高木和弘(Vn) 谷本華子(Vn) 石上真由子(Vn) 大和美祈(Vn) 中平めいこ(Vn) 松川暉(Vn) 日暮霞(Vn) 南篠聖子(Va) 野澤匠(Va) 金子鈴太郎(Vc) 杉本環紀(Vc) 石川徹(Cb) 曲目 モーツァルト:ディヴェルティメント K136・137・138 他 料金 自由5,000 学生3,000 問合せ ヒラサオオフィス 03-5429-2399	
6 火 19:00	上野混声合唱団 第18回定期演奏会 出演 田尻明規(Cond) 増田のり子(S) 木村裕平(Pf) 曲目 ラター:レクイエム 料金 入場無料(要整理券) 問合せ 上野混声合唱団 03-3875-2240	
7 水 19:00	門前啓一郎 ピアノ・リサイタル 曲目 シューマン:謝肉祭 他 料金 自由3,000 学生1,000 問合せ 新演 03-3561-5012	
8 木 19:00	「創遊・楽落“夜”らいぶ」Vol.41 -音楽家と落語家のコラボレーション- 主催公演 P9参照 出演 笑福亭鶴光(落語) 三橋貴風(尺八) 外山 香(箏) 曲目 第一部 ミニコンサート 第二部 落語と音楽のコラボレーション「善悪双葉の松」 料金 自由1,000 問合せ 東京文化会館 事業係 03-3828-2111	
9 金 19:00	アンサンブル・クライス 第15回定期演奏会 出演 相原千興(Vn) 大津千代子(Vn) 光行澄子(Va) 宮澤 等(Vc) 他 曲目 ドヴォルジャーク:弦楽セレナーデ 他 料金 自由2,500(当日3,000) 問合せ アンサンブル・クライス 0467-73-0636	
10 土 14:00	神田将 リサイタル2018 愛の調べ 出演 神田将(エレクトーン) サイ・イエンガン(S) 曲目 R.シュトラウス:サロメ「七つのヴェールの踊り」 他 料金 指定6,000 問合せ Ro-Onチケット 047-365-9960	
11 日 13:00	おとのぎずな Sing in Messiah 2018 出演 八尋和美(Cond) 三塚直美(S) 小川明子(A) 大島博(T) 田代和久(Bs) 東京バッハ・カンタータ・アンサンブル(管弦楽) 曲目 ヘンデル:「メサイア」全曲 料金 自由5,000 高校生以下3,000 問合せ おとのぎずなメサイア事務局 03-3685-3248	
12 月・祝 14:00	クライネス・コンツェルトハウス op.35 出演 小澤洋介(Cond.Vc) 三戸素子(Vn) 長明康郎(Vc) 杉浦美知(Vn) 曲目 ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」 他 料金 自由5,000 問合せ クライネス・コンツェルトハウス 04-2945-6326	
13 火 19:00	第23回上野アマカルトランペットアンサンブル 出演 東京藝術大学トランペット専攻生 他 管打楽器専攻生 曲目 ラヴェル:「ダフニスとクロエ」第2組曲 他 料金 自由1,000(当日1,500) 問合せ 箕輪 080-6678-4846	

休館日: 26日(月)・27日(火)

14 水 19:00	黒田映李 ピアノ・リサイタル 出演 黒田映李(Pf) 金子平(Cl) 宮坂拓志(Vc) 曲目 プラームス:クラリネットトリオ 他 料金 自由3,500 学生2,500 問合せ 日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545	
15 木 19:00	第29回東京藝術大学ホルンアンサンブル定期演奏会 曲目 ブルックナー:交響曲第8番 第4楽章 料金 自由1,200(当日1,500) 問合せ 東京藝術大学ホルン科(松原) 080-6967-8929	
16 金 19:00	第25回東京藝術大学サクソフーン専攻生による演奏会 出演 楠瀬亮(Sax) 清水舞花(Sax) 堤華奈(Sax) 潘承飛(Sax) 曲目 チャイコフスキー:弦楽セレナーデ第1、3、4楽章 他 料金 自由1,200(当日1,500) 問合せ 玉井 070-2190-0025	
17 土 14:00	上野 de クラシック 主催公演 P11参照 出演 黒岩航紀(Pf) 上野耕平(Sax) 曲目 シュミット:レジェンド op.66 他 料金 自由1,500 問合せ 東京文化会館 事業係 03-3828-2111	
18 日 14:00	和谷泰扶 ハーモニカ・リサイタル 出演 和谷泰扶(Harm) 菊地知也(Vc) 荒尾岳児(Pf) 曲目 ヘンリー・カウエル:ハーモニカ・コンチェルト 他 (ピアノ版編曲:菅野由弘) 料金 自由4,000 問合せ ミリオンコンサート協会 03-3501-5638	
19 月 18:30	第23回東京藝大ファゴット集団定期演奏会 出演 東京藝術大学ファゴット専攻生 曲目 リスト:ハンガリー狂詩曲第2番 料金 自由1,500 高校生以下1,000 問合せ 東京藝大ファゴット集団(インスペクター渡邊) 090-9387-9918	
20 火 18:45	日本モーツァルト協会 第596回例会 ~輝きに満ちた2つの傑作~ 出演 寺神戸亮(Vn) 迫野野百合(Vn) 原田陽(Vla) 懸田貴嗣(Vc) 曲目 モーツァルト:ディヴェルティメント K563 他 料金 自由5,000 学生2,000 問合せ 日本モーツァルト協会 03-5467-0626	
21 水 19:00	2018都民芸術フェスティバル参加公演 室内楽・シリーズ No.17 「カルテットが紡ぐ極上の響き」 出演 漆原啓子(Vn) 漆原朝子(Vn) 大島 亮(Va) 辻本 玲(Vc) 曲目 シューベルト:弦楽四重奏曲第13番「ロザムンデ」 他 料金 指定3,000 学生2,000 問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131	
22 木 19:00	ケネス・ワイズ チェンバロ・リサイタル 曲目 J.S.バッハ:フランス組曲第5番 他 料金 指定4,500 ペア7,000 問合せ アレグロミュージック 03-5216-7131	
23 金 19:00	アンサンブル コルディエ定期演奏会 Vol.46 出演 大塚直哉(Cem) 野口千代光(Vn) 長谷部雅子(Vn) 羽川真介(Vc) 他 曲目 J.S.バッハ:6声のリチェルカーレ 「音楽の捧げもの」より(合奏版) 料金 指定3,500 問合せ アンサンブル コルディエ 03-3851-7150	
24 土 14:00	イリーナ・メジャーエフ 日本デビュー20周年記念 3つのピアノリサイタル Vol.3 リストとロシアの作曲家 曲目 ラフマニノフ:ピアノソナタ第2番(1931年版) 他 料金 指定5,000 学生3,000 問合せ アイエムシーミュージック 03-6907-2535	
25 日 14:00	アマチュアピアノコンクール優勝者による ピアノジョイントコンサート vol.11 出演 松本 淳(Pf) 小久保和哉(Pf) 深津 徹(Pf) 白石吾朗(Vn) 曲目 ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第9番「クロイツェル」 他 料金 自由1,500(当日2,000) 問合せ オフィス・ピアノイング 090-6139-5686	
28 水 19:00	安田正昭 ピアノ・リサイタル 曲目 シューマン:ピアノソナタ第1番 他 料金 自由3,500 問合せ 銀河企画 0422-52-0429	



大ホール

Table of performances in the Main Hall (大ホール), including events like '2018市民芸術フェスティバル参加公演' and 'フォレストコンサート in 東京文化会館'.

休館日: 12日(月)・13日(火)

小ホール

Table of performances in the Small Hall (小ホール), including events like '2018市民芸術フェスティバル参加公演' and '東京音楽コンクール入賞者リサイタル'.

休館日: 12日(月)・13日(火)

Table of performances in the Small Hall (小ホール), including events like '藤井一興 ピアノ・リサイタル' and 'MIKA NAGAMURA with Her Wonderful Friends'.

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2018-

Table of performances for the Tokyo Spring Music Festival, including events like 'シンフォニエッタ・クラコヴィア with トマス・コニエチューニ I, II' and '都響メンバーによる室内楽'.

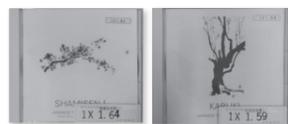
音楽資料室は、昭和36年10月に開設された音楽専門の図書館です。クラシック音楽を中心として、民族音楽や邦楽、舞踊に関する資料(図書、楽譜、CD・LP、映像など)を所蔵しており、どなたでも無料で閲覧・視聴ができます。火曜から土曜は20時まで開室しております。コンサートの前やお仕事帰り等に、ぜひお立ち寄りください。

※音楽資料室は東京文化会館4階にあります。ご来室の際は、エントランスロビー奥のエレベーターをご利用ください。



音楽資料室にはクラシック音楽だけではなく、日本独自の伝統音楽の資料も揃っています。日本人は古いものを大切に守りながら、新しい文化の流れも敏感に取り入れる柔らかさがあります。音楽や芸能の世界でも様々な文化が継承され発展してきました。このようにたくさんのジャンルの文化が互いを尊重し合いながら同じ土壌で培われ大切に残っているのは世界の中でも稀かもしれません。古くから伝わる日本の響きに耳を澄ませてみてはいかがでしょうか。

CD



伝統音楽CD

日本の伝統音楽シリーズのCD全10枚。写真は「三味線(語り)」と「歌舞伎」です。三味線は[唄もの]と[語りもの]に分けられますが[語り]とは、物語を語り唄い三味線が伴奏に入ります。語りは主人公の心の動きを語り三味線の旋律で目の前に情景が浮かびあがり、思わず物語に引き込まれます。歌舞伎のCDは、昭和60年12月に行われた十二代目市川團十郎の襲名披露公演の「勅進帳」のライブ録音。迫力たっぷりの歌舞伎の世界が展開されます。

(写真左から)

CD 「三味線(語り):江戸ルネサンス・情」
請求記号:1X1.64

CD 「歌舞伎:江戸のグランド・オペラ」
請求記号:1X1.59

Score



楽譜

雅楽の伝統的な曲を西洋音楽で用いる五線紙に採譜した楽譜。有名な「越天楽」も載っています。採譜を行った宮廷雅楽師の芝祐泰氏は、本書の「第一集に就いて」の解説上で次のように述べています。『(略)但し各曲終結の太鼓以下、各音頭が残留して奏する吹止句や、各奏者が互に緩急を図り合わせて自由に奏する部で、これらの採録は不可能な事であるが便宜上等時的小節内でその大要を表した(略)このように伝統音楽ではお互いの呼吸の回り方や楽譜には書き表せない音と音の間にある表現などもあり、採録の大変さが伝わってきます。』

SCORE 「雅楽」芝祐泰採譜(龍吟社・1955)
請求記号:MS-1728

Music Book



伝統音楽図書

全13冊の「邦楽大系」シリーズ。1巻から順に「雅楽・仏教音楽・琵琶楽」「能・狂言」「箏曲・尺八1,2」「義太夫」「古曲」「常磐津」「清元」「長唄1,2」「上方唄・江戸唄」「郷土芸能」「別巻・現代邦楽」。付録レコードで実際に音を聴きながらお読みいただけます。舞台の様子や伝統楽器、華やかな衣装などの写真もあり、視覚的にも楽しめます。

BOOK 「邦楽大系」1~12、別巻(筑摩書房)
請求記号:7.0-H678-1~13

音楽資料室で所蔵している資料はすべて、実際に手に取ってご覧いただくことができます。目的の資料が見つからない、機器の操作方法がわからないなど、ご不明な点はカウンターの職員におたずねください。また、所蔵資料の一部を除きインターネットからも検索できますので、来室前の下調べにもお役立てください。みなさまのご利用をお待ちしています。



閲覧室



視聴室

音楽資料室ご案内

東京文化会館4Fには、音楽資料室があります。楽譜、CD・LP、映像、図書など、クラシック音楽を中心とした資料の閲覧・視聴ができます。初回は、お名前、住所を確認できるものをお持ちください。電話での資料に関するご質問にもお答えしております。(電話受付時間:祝日を除く開室日の火~土曜 9~17時)インターネットでも所蔵資料を検索することができます。

TEL ▶ 03-3828-2111(代表)

URL ▶ <http://www.t-bunka.jp/library/>

*コピーサービスを除き、料金は必要ありません。

開室時間

火曜~土曜13時~20時(コピー受付18時30分まで)
日曜・祝日 13時~17時(コピー受付16時まで)

休室日

・毎週月曜
・保守日等(12月19-20日、1月16-17-30-31日、2月13-14-27-28日、3月13-14-27-28日)
・年末年始(12月28日-1月3日)

*休室日や開室時間は変更になる場合があります。詳しくは、ホームページのカレンダーや電話等でご確認ください。

都響ニュース vol.46

東京文化会館から上質の音楽を発信!

2018年度会員券 好評発売中!

2018年度の都響にとって大きな話題は、アラン・ギルバートの首席客演指揮者就任です。大野和士音楽監督、終身名誉指揮者小泉和裕、桂冠指揮者エリアフ・インバルとともに、新たにまた世界的マエストロが都響指揮者陣に加わることを心より歓迎し、楽員とのいっそう強固なパートナーシップのもと、より充実したプログラムと演奏をみなさまにお届けする所存です。

東京都交響楽団

音楽監督:大野和士
桂冠指揮者:エリアフ・インバル
終身名誉指揮者:小泉和裕
首席客演指揮者:
ヤクブ・フルシヤ アラン・ギルバート
[退任](~2018年3月31日) [就任](2018年4月1日~)

東京文化会館で行う定期演奏会Aシリーズは、大野和士がマラー第3交響曲でシーズン開幕を飾り、小泉和裕、オレグ・カエターニ、ミハエル・ザンデルリンク、アラン・ギルバート、エリアフ・インバルを指揮陣に迎え、聴きごたえのあるシンフォニー・コンサートをお届けします。ぜひ、お得な会員券でお楽しみください。2018年度もみなさまのご来場を心よりお待ちしております。

2018年度定期演奏会Aシリーズ 各回19時開演 東京文化会館

第852回 4月9日(月) | 1回券:12/15(金)発売

指揮/大野和士
メゾソプラノ/リリ・パーシキヴィ
児童合唱/東京少年少女合唱隊
女声合唱/新国立劇場合唱団
マラー:交響曲第3番 二短調



大野和士 リリ・パーシキヴィ
©Rikimaru Hotta ©Rami Lappalainen and Unelmstudio Oy Ltd

第856回 5月28日(月) | 1回券:12/15(金)発売

指揮/小泉和裕
ヴァイオリン/アレクサンドラ・スム
ドヴォルザーク:序曲《謝肉祭》op.92 B.169
グラスノフ:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.82
ドヴォルザーク:交響曲第7番 二短調 op.70 B.141



小泉和裕 アレクサンドラ・スム
©Rikimaru Hotta ©Beatrice Cruveiller

第858回 6月11日(月) | 1回券:12/15(金)発売

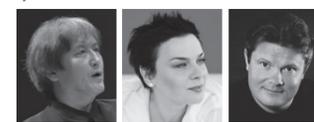
指揮/オレグ・カエターニ
チェロ/宮田大
シューベルト:交響曲第3番 二長調 D200
矢代秋雄:チェロ協奏曲(1960)
ベートーヴェン:交響曲第5番 八短調 op.67《運命》



オレグ・カエターニ 宮田大
©Yukio Kojima

第864回 10月24日(水) | 1回券:3/23(金)発売

指揮/大野和士
ソプラノ/アウシュリネ・ストウンディーテ*
バリトン/アルマス・スヴィルバ*
シュレーカー:室内交響曲
ツェムリンスキー:抒情交響曲 op.18*



大野和士 アウシュリネ・ストウンディーテ アルマス・スヴィルバ
©Rikimaru Hotta ©Schneider photography

【2018年度1回券】

	S席	A席	B席	C席	Ex席
第856-867回	6,500	5,500	4,500	3,500	2,200
第858回	7,000	6,000	5,000	4,000	2,700
第864-872-874回	7,500	6,500	5,500	4,500	3,200
第852-870回	8,000	7,000	6,000	5,000	3,700

◎シルバーエイジ(65歳以上)、U25(25歳以下)割引等あり。詳しくはお問合せください。

第867回 11月21日(水) | 1回券:7/20(金)発売

指揮/ミハエル・ザンデルリンク
ピアノ/河村尚子
ワイル:交響曲第2番
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第1番 変二長調 op.10
ショスタコーヴィチ:交響曲第6番 口短調 op.54



ミハエル・ザンデルリンク 河村尚子
©Marco Borggreve ©Hirofumi Isaka

第870回 12月19日(水) | 1回券:7/20(金)発売

指揮/アラン・ギルバート チェロ/ターニャ・テツラフ*
ヴィオラ/鈴木学*
R.シュトラウス:交響詩《ドン・キホーテ》op.35*
ビゼー:『カルメン』組曲より(アラン・ギルバート・セレクション)
リムスキー=コルサコフ:スペイン奇想曲 op.34



アラン・ギルバート ターニャ・テツラフ 鈴木学
©T.Tairadate ©Giorgia Bertazzi ©M.Okubo

第872回 2019年1月15日(火) | 1回券:9/21(金)発売

指揮/大野和士
テノール/イアン・ボストリッジ*
プソニー:喜劇序曲 op.38
マラー:《少年の不思議な角笛》より*
ラインの伝説/魚に説教する
パドヴァのアントニウス/
死んだ鼓手/少年鼓手/
美しいランペットの鳴り渡るころ
プロコフィエフ:交響曲第6番 変ホ短調 op.111



大野和士 イアン・ボストリッジ
©Rikimaru Hotta ©Sim Canetty-Clarke

第874回 2019年3月26日(火) | 1回券:9/21(金)発売

指揮/エリアフ・インバル
チェロ/ガブリエル・リブキン*
ブラームス:悲劇的序曲 op.81
プロッホ:ヘブライ狂詩曲《シェロモ》*
ショスタコーヴィチ:交響曲第5番 二短調 op.47



エリアフ・インバル ガブリエル・リブキン
©Rikimaru Hotta

【2018年度会員券:好評発売中】

S席	A席	B席	C席	Ex席
36,600	31,600	26,600	21,600	19,200

ご予約と
お問合せ

都響ガイド 0570-056-057 (ナビダイヤル) <http://www.tmso.or.jp> (ホームページからも予約できます)

〒110-0007 東京都台東区上野公園5-45 東京文化会館1階(月~金 10時~18時/土日祝休み)

東京文化会館友の会のご案内

“音楽の殿堂”東京文化会館を応援して下さる舞台芸術ファンのための友の会『Club Wa-Wa(わあわ)』。Wa-Waとは、ご支援くださる皆様の“輪”と“和”を意味しています。

東京文化会館は、昭和36(1961)年の開館以来、日本における舞台芸術の中心地として、半世紀にわたる歴史を刻んでまいりました。伝統をふまえ、未来へ向けて歩む会館を、『Club Wa-Wa』の皆様へ支えていただき、さらなる“輪”を広げていただきたいと思います。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。

【会員プラン】

- ① **ベーシックプラン** 年会費 2,160円
メルマガ、ホームページから情報をお届けするプラン
- ② **クラシックプラン** 年会費 2,700円
毎月1回ご郵送する会報誌から情報をお届けするプラン

【特典】(ベーシックプラン、クラシックプラン共通)

- ①当館指定公演のチケット割引
- ②先行発売
- ③招待
- ④館内レストラン・ショップ割引
- ⑤ヤマハ銀座店5%割引(一部対象外)
- ⑥「音脈」郵送
- ⑦東京都歴史文化財団が運営する文化施設の入館料等の割引
- ⑧アトレ上野の対象店舗の各種サービス
- ⑨エキュート上野の対象店舗の各種サービス

お問い合わせ
東京文化会館友の会事務局
03-3828-1696(平日9:00~17:00 土日祝休み)
<http://www.t-bunka.jp/>

vol.69 音脈 表紙について

年末年始に向けて、街の華やぎを感じる季節となりました。今号の表紙では、新たな年を迎える喜びに満ちた彩りを散りばめました。彫刻家の流 政之氏による大ホールのホワイエの上部を飾る金色と黒のレリーフ「江戸キンキラ」。そして、美しい光を放つ大ホールの回廊。ホワイエのコンクリートの柱は、近くでご覧頂くと木目の模様が、床のタイルは、まるで木の葉が舞っているようです。ガラス窓から見える上野公園の木々とホールが一体化しているように感じられます。建築家 前川國男氏が抱いた思いが伝わってきます。

立ちどまらない保険。
MS&AD あいおいニッセイ同和損保



優しくするには強くならなきゃ。
あなたをさまざまなリスクから守るために、
自動車保険、火災保険、ケガの保険、
いろんな保険を、ひとつのシリーズで。
わかりやすく、頼りになる保険です。



タフな安心を、あなたに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
公務部営業第二課

〒103-8250
東京都中央区日本橋 3-5-19
TEL:03-6734-9985
<http://www.aioinissaydowa.co.jp/>



年代物の美しい調度品に飾られた壮麗なお部屋から、ビジネスシーンにふさわしい落ち着いたお部屋まで、さまざまな広さやタイプからお選びいただけるご宴会ルーム。晴れやかな祝宴からご法会、カジュアルなパーティー、ビジネスでの交流会や接待などにもご利用いただけます。



上野公園内不忍池畔
ご婚礼・ご宴会・レストラン
感謝の145年

明治5年の創業以来
歴代の料理長に受け継がれ、
磨き続けられる確かな味と技。
時代を超えて変わらない
心づくしのおもてなし。
これからもお客様への感謝の心を
おいしさに込めて、
「よりよきサービス よりよき内容」を
モットーに、進化し続けてまいります。



上野本店 東京都台東区上野公園 4-58 TEL:03(3821)2181(代表)
<http://www.seiyoken.co.jp/> FAX:03(3822)1330

上野精養軒
サイゴースン
3153店
UENO3153 ビル3階

JR 上野駅不忍口前 1分

東京都台東区上野公園 1-57
TEL:03(3832)3153 FAX:03(3832)3151

Forestier.
精養軒
東京文化会館2階

東京都台東区上野公園 5-45
TEL:03(3821)9151 FAX:03(3821)9150

2018 日本最古の温泉地に、クラシック界期待のアーティスト!

Special concert

“2018ニューイヤークラシックミニコンサート”

テノール
清水 徹太郎
Tetsutaro Shimizu

1/24(水)・25(木)

心地よい奏に
温かい温泉、
そして…

居心地のよい
お部屋で
ごゆっくりと。

有馬グランドホテル
<http://www.arima-gh.jp/>

神戸中心部から好アクセス!
新神戸駅から車、電車で約30分

tel.078-903-5489 兵庫県神戸市北区有馬町 1304-1

Profile
第9回
東京音楽コンクール
声楽部門 第3位

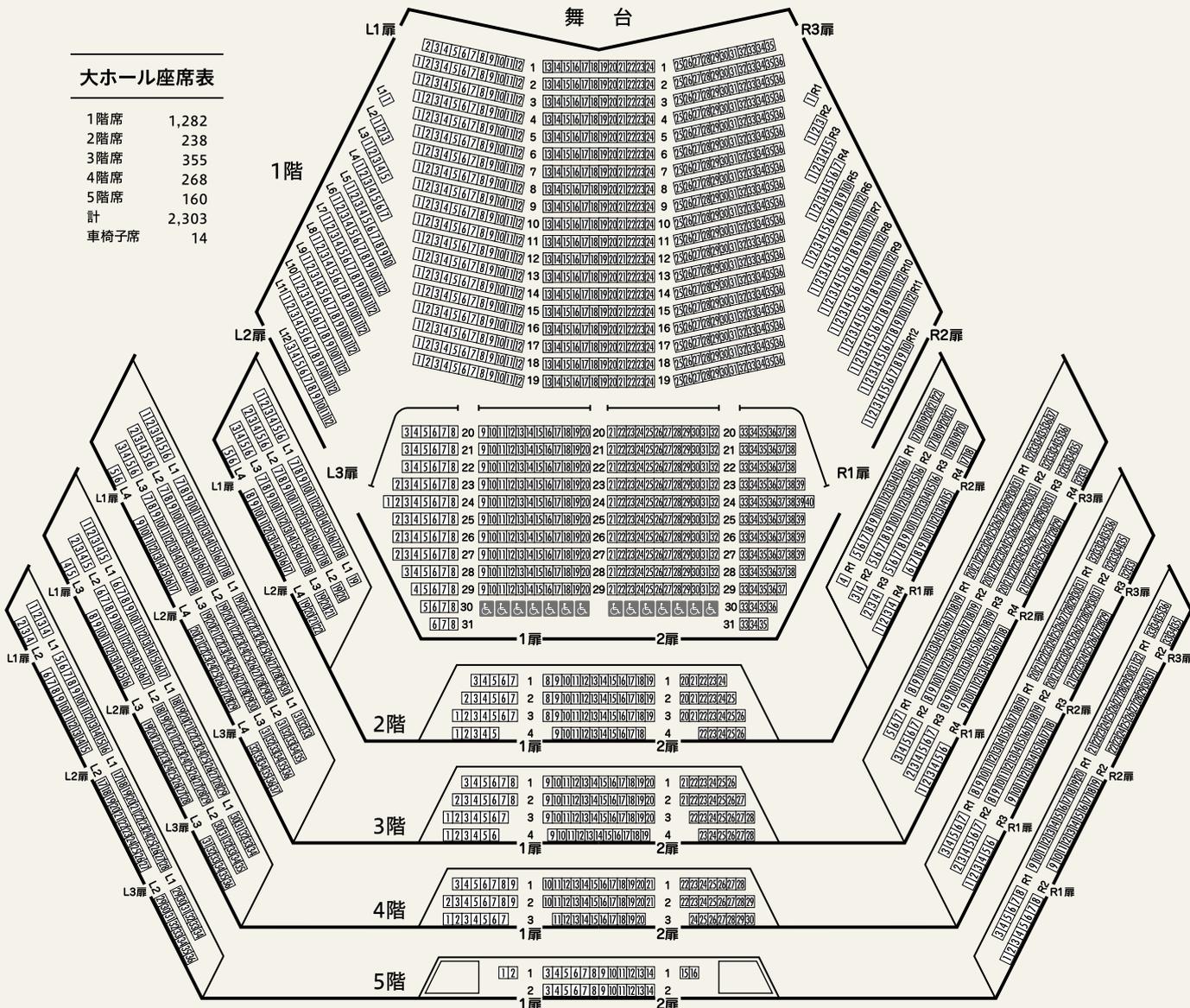
テーブルチャージ
無料

◆Time 1部 20:30~ / 2部 21:15~
◆Place 有馬グランドホテル1階ラウンジ「ルシェット」

※詳しくはお問い合わせください。

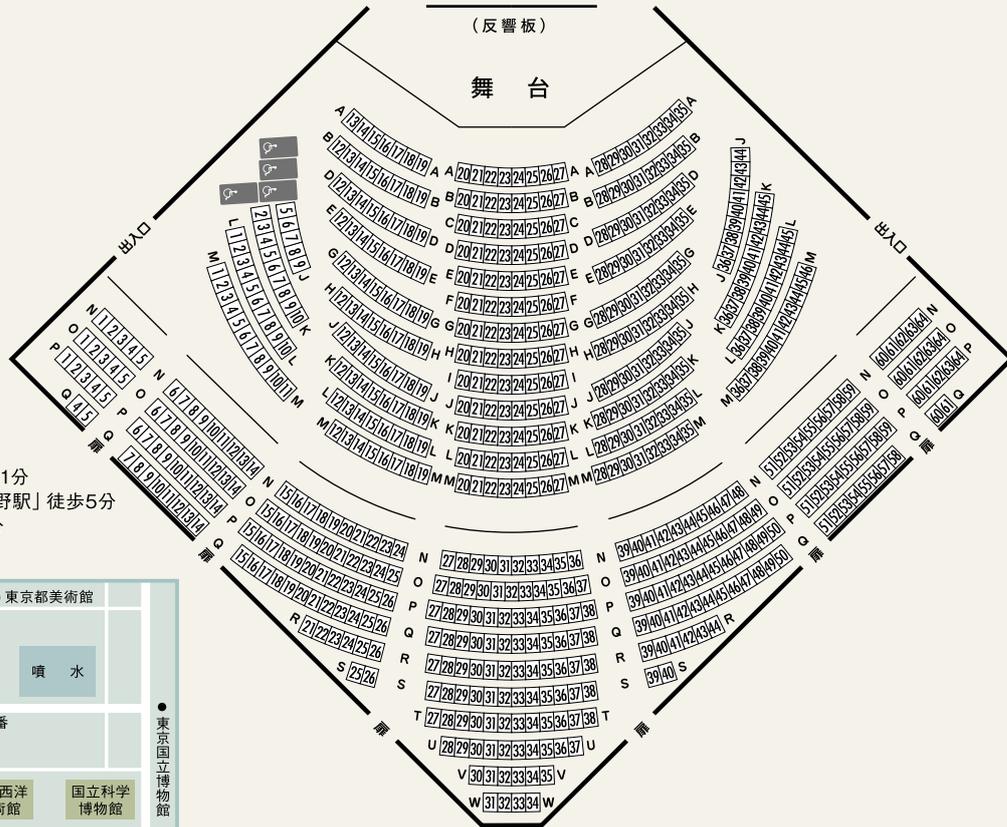
大ホール座席表

1階席	1,282
2階席	238
3階席	355
4階席	268
5階席	160
計	2,303
車椅子席	14



小ホール座席表

下段席	338
上段席	311
計	649
車椅子席	4



Access

- JR線 「上野駅」公園口 徒歩1分
 - 東京メトロ 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
 - 京成線 「京成上野駅」徒歩7分
- ※当館には駐車場はございません。



※ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。
あらかじめご了承ください。